

令和3年度行政評価(令和2年度事業執行分)の概要

令和3年度の行政評価は、別紙「令和3年度習志野市行政評価施策評価表(令和2年度事業執行分)」により実施しました。令和3年9月7日の習志野市長期計画審議会においては、その内容を報告し、委員の方々から御意見をいただきました。この度の評価の概要は次のとおりです。

令和2年度における後期基本計画の達成状況

習志野市後期基本計画では、施策体系の「章」「節」「項」「号」のうち、施策を表す「項」ごとに評価を行っております。評価は、30の施策に対して設定した59の成果指標の達成状況を確認し、各所管部課で評価しております。

令和2年度の各成果指標の達成状況は、下表のとおりです。

◎(目標値を達成)	13指標	22.0%
○(目標未達成であるが進捗)	22指標	37.3%
◇(外的要因 ^{※1} により基準値未満)	14指標	23.7%
×(未着手等により基準値未満)	7指標	11.9%
—(実績値なし ^{※2})	3指標	5.1%

※1 予期せぬ外的要因である新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施策に取り組んだにも関わらず、基準値を下回ったもの。

※2 指標の測定時期が決められた他の年度である等の理由により、当該年度の指標が確認できないもの。

目標値を達成している13指標のうち、12指標については年度の状況によって変化するため、今後も経年で実績を見ていく必要があります。

目標値を達成(完了)している施策

○「2-1-1 防災・危機管理の推進」

【成果指標「防災行政無線屋外拡声子局のデジタル化局数」(総務部危機管理課)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
25局	49局	49局

本施策では、災害時における情報発信体制の整備の推進等を図っており、目標値を達成しています。

これは、整備に係る市の資金調達について、国の地方債である「緊急防災・減災事業債」の適用が令和2年度までとなっていたため、予定を前倒して実施したことにより、早期に目標の達成がされたものです。

目標値に達しなかった施策

○「1-2-1 産業の振興」

【成果指標「市内事業所数」(協働経済部産業振興課)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
4,270事業所	4,270事業所	4,136事業所

本施策では、市内事業者の経営の安定化のほか、市内への新たな企業の進出等を図っています。

企業の承継問題として、高齢化が進み、廃業・撤退した事業者が増加していること、また、令和元年10月の消費税引き上げなど、個人の消費動向に直結するサービス事業者等への影響によるものが基準値を下回った理由であると推察しています。

○「2-1-3 防犯・交通安全の推進」

【成果指標「自転車通行区間の整備延長」(都市環境部街路整備課)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
0km	15km	0km

本施策では、市民の防犯及び交通安全に対する意識向上のほか、自転車通行ネットワークの形成等を図っています。

路線の整備形態、歩道における自転車の交通規制及びハミングロードにおけるサイクリング道路の取扱いが課題となり、事業化に至っていないのが目標未達成の要因です。

○「2-2-2 住宅施策の充実」

【成果指標「市営住宅の入居率」(都市環境部住宅課)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
94.6%	100%	91.6%

本施策では、市営住宅の計画的な活用、維持管理等を図っています。

退去後のリフォーム工事費用が高額な住戸の戸数が増加しており、未改修の空き室が一定程度あることのほか、現状の入居可能な空き室における立地や築年数、部屋の階層等が入居希望者のニーズとマッチングしていないのではないかと推察されることなどが、目標値未達成の要因と分析しています。

○「2-3-2 自然環境の保全・活用」

【成果指標「自然保護地区等の指定面積」(都市環境部公園緑地課)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
1.03ha(自然保護地区)	1.03ha(自然保護地区)	1.03ha(自然保護地区)
5.43ha(都市環境保全地区)	5.43ha(都市環境保全地区)	5.40ha(都市環境保全地区)

本施策では、自然・都市環境の保護・保全に対する理解・協力などの働きかけを行い、貴重な自然環境の保護・保全等を図っています。

鷺沼台都市環境保全地区について、所有者から当該地を第三者に譲渡するため、樹木を

伐採する必要があることから、指定解除の申し出があり、これを受理したことにより実績値が基準値を下回りました。

○「3-1-1 子育て・子育ての支援」

【成果指標「ひまわり発達相談センターを利用して心配事が軽減した人の割合」(こども部ひまわり発達相談センター)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
52%	84%以上	50%

本施策では、障がいや虐待、貧困など特に支援が必要な子ども・家庭に対して適切な支援の充実等を図っています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、指導回数が減少したことが、目標未達成の要因ではないかと推察しています。

○「3-2-1 幼児教育の向上」

【成果指標「朝食を食べる児童の割合」(こども部こども保育課)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
96.9%	97%以上	96.3%

本施策では、基本的な生活習慣や食事の大切さを啓発し、未就学の子どもを持つ家庭・保護者の教育力の向上等を図っています。

緊急事態宣言の発令により、臨時休園や登園自粛を行ったことから、児童の生活習慣が整わない状況があったことによるものではないかと推察しています。

○「3-4-1 誰もがその人らしく活躍できる社会の実現」

【成果指標「市の審議会等委員における男女比率」(協働経済部男女共同参画センター)】

基準値	目標値	実績値(令和2年度)
29.8%(女性比率)	40%以上60%未満	29.3%(女性比率)

本施策には、ワーク・ライフ・バランスの認識を深めるための取り組みを推進し、人権侵害のない環境づくり等を図っています。

各課所管の審議会等の任期満了時に女性委員の登用について、検討するよう庁内に文書依頼がされていますが、一部審議会等では、専門人材の確保等が難しい状況があることが、目標未達成の要因と分析しています。

令和2年度における後期第1次実施計画の進捗状況

令和2年度から令和4年度までの3年間の計画期間とする後期第1次実施計画において取り組んだ事業数は、267事業となっています。

令和2年度の各事業の進捗状況は、下表のとおりです。

A（実施予定事項が完了）	58.1%
B（実施予定事項を実施過程）	36.3%
C（実施予定事項が着手段階、変化発生段階）	1.5%
D（実施予定事項が検討段階）	1.1%

総括

成果指標については、目標を達成したものが59指標中13指標となっています。

なお、目標値を達成しないものの進捗している事業を含めると35指標となることから、計画初年度ではあるものの、一定の進捗が見られたものと認識しています。

また、実施事業については、約6割の事業が「実施予定事項が完了」となっており、実施過程にある事業も3割を超えていることから、十分な進捗が図られているものと考えます。

今後も、引き続き計画の進行管理を徹底し、行政評価を通じて事業内容の見直しや、次の後期第2次実施計画における事業計上に反映してまいります。

長期計画審議会委員からの主な意見等

令和3年9月7日に開催した習志野市長期計画審議会においては、後期第1次実施計画の進捗状況について報告を行い、各委員からは下記の意見をいただきました。

○「1-2-4 まちの魅力の創出」

- ・市ホームページアクセス数の向上により目標達成としているが、新型コロナウイルス関連情報取得のため、アクセス数が集中したことによるものと推察する。他の指標では、コロナ禍により意図せず実績が下回ったものを補足する評価になっているのに対し、本件では反対に意図せず上回っている形となっている。上回ったものに対して補足がない事に違和感を覚える。
- ・取組内容のうち、シティセールス動画の発信、PRは、定住施策ではなく、新たな住民に向けたブランドイメージ向上施策ではないか。現在の住民が定住する施策を並行して考える必要があるのではないか。

○「2-1-3 防犯・交通安全の推進」

- ・自転車通行区間の整備延長について、ハミングロードの取扱いが課題とのことだが、できるところから予算化すべきなのではないか。